



PUBLIC RELATIONS KAMIKOANI

広報

かみこあに

10月号
令和元年
No.729

黄金色の稻穂を収穫!!

小学生稻刈り体験(関連2ページ)



上小阿仁村PRキャラクター
ごあひよん

主な内容

4P~5P

6P~7P

13P

行政報告要旨
平成30年度決算報告
産業祭ご案内

元気いっぱい! かみこあに保育園運動会



ゴールを目指して全速力

9月14日、かみこあに保育園の運動会が村民グラウンドで開催されました。

今年は晴天に恵まれ青空のもと運動会に臨みました。

開会式で園児代表が大きな声で宣誓をした後は、ラジオ体操で体をほぐし、競技が始まりました。かけっこでは各組の園児が一生懸命30mを走りました。その他にもクラス毎の競技や紅白対抗の玉入れなど様々な種目を家族の応援に応え一生懸命取り組みました。



北林 孝作 氏（堂川）

9月20日、北秋田の杜公園で開催された、令和元年「秋の全国交通安全運動」北秋田地区総決起集会において、北秋田交通安全協会上小阿仁支部の北林孝作さん（堂川）が「緑十字銅章（交通安全功労者）」を受賞されました。

上小阿仁支部の役員として、長年にわたり、交通安全の推進に熱心に取り組み、地域住民の交通事故防止、安全確保のために積極的に活動されています。

こうした功労が認められ、この度の受賞となりました。
受賞、おめでとうございます。



交通安全を呼びかけました

9月20日から30日まで行われる「秋の全国交通安全運動」の一環行事として、上小阿仁駐在所長と交通指導隊の協力もと交通指導車や軽トラックに交通安全啓発旗や風船を飾り付け、各集落を巡回し、交通安全を呼びかけました。



豊かな稲が実りました

今年の5月に自分たちの手で植えた田んぼに豊かに実った稲を児童たちは機械を使わずに鎌を使い、昔ながらの手法を教わりながら作業しました。鎌の使い方や刈り取る時の姿勢などのコツをすぐにつかみ大人顔負けの収穫作業となりました。収穫したお米は学校の給食などで使用する予定となっています。

北林 孝作氏（堂川） 「緑十字銅章」受賞

安全な運転を呼びかける 交通安全パレード

小学生 稲刈り体験

9月25日、大海集落内の田んぼで小学校5年生が稲刈り体験をしました。

9月25日、大海集落内の田んぼで小学校5年生が稲刈り体験をしました。今年の5月に自分たちの手で植えた田んぼに豊かに実った稲を児童たちは機械を使わずに鎌を使い、昔ながらの手法を教わりながら作業しました。鎌の使い方や刈り取る時の姿勢などのコツをすぐにつかみ大人顔負けの収穫作業となりました。収穫したお米は学校の給食などで使用する予定となっています。

かみこあにプロジェクト2019 閉幕



○健康ウォーキング

9月5日、ウォーキングをしながら、各作品を見てまるる健康ウォーキングが行われました。

午前の部は、各作品の紹介を聞きながら、自然の溢れる八木沢会場を歩くツアーとなりました。八木沢公民館周辺、八木沢集落周辺、棚田周辺に設置してある作品を順番に巡り自然豊かな八木沢と融合したアートは日常生活で感じる事のできない魅力を参加者に届けました。



○クロージングイベント 上小阿仁音楽散歩 「ファイナーレ演奏」

かみこあにプロジェクトの最終日となる9月8日、八木沢会場の棚田舞台でクロージングイベントが行われました。

出品作家や実行委員会のトークのほか、八木沢番楽の演技や英心 & The meditronicsと合川中学校、上小阿仁中学校の吹奏楽部によるセッションライブが行われ、かみこあにプロジェクト2019のファイナーレを飾りました。



9月定例会

行政報告要旨

平成30年度決算について

平成30年度各会計の決算は、一般会計では9431万7千円の黒字決算となりました。

また、特別会計では5会計で繰越し金が出ており、総額で1379万7千円となりました。

令和元年度補正予算について

令和元年度一般会計補正予算は、8643万5千円の追加補正で、補正後の総額は24億3838万9千円となります。

消防・防災関係について

7月28日、秋田県消防協会大館北秋田支部消防訓練大会が、大館市比内グラウンドを会場に開催されました。

上小阿仁村消防団の成績は、小型ポンプ操法の部で優勝、規律訓練の部第2位、ポンプ車操法の部第3位という結果で、小型ポンプ操法の部で優勝した第3分団は、秋田県消防操法大会への出場権を獲得いたしました。

8月24日、第56回秋田県消防操法大会が、由利本荘市の秋田県消防学校を会場に開催され、小型ポンプ操法の部に出場した第3分団は、県内各支部代表の精銳が競う中、堂々たる操法を披露いたしました。選手はじめ団員各位の頑張りに敬意を表するとともに、指導に当たつていただいた消防職員各位に感謝申し上げます。

北秋田市周辺衛生施設組合について

7月22日、北秋田市周辺衛生施設組合定例議会が開催されました。

平成30年度決算につきましては、歳入総額2億1699万9千円、歳出総額1億9781万5千円で1918万4千円の繰越しとなつております。

また、令和元年度補正予算につきましては、平成30年度からの繰越し金の補正、財政調整基金積立金の補正等を行つております。

秋田支部消防訓練大会が、大館市比内グラウンドを会場に開催されましては、平成30年度から2万7900・0・0 klで、前年度と比較して108・0 kl、0・4%の増、1日平均処理量は76・4 klとなつております。

その内訳は、し尿1万1876 kl、42・6%、農業集落排水汚泥を含む浄化槽汚泥1万6023・6 kl、57・57%となつております。

環境保全につきましては、放流水

質の定期的な分析結果は管理基準値を下回つており、適正で安定した処理が行われております。令和2年度以降の施設解体等に伴う経費につきましては、昨年度委託した基本設計では、概算事業費として3億6740万円、樋管撤去工事が6199万6千円と算出されており、組合解散後も現在の構成市町村で負担することしております。

なお、上小阿仁村議会議員選挙後の議員の異動に伴い、議長に当村の武石辰久議員が選出されております。

北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合について

8月5日、北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合定例議会が開催されました。

平成30年度決算につきましては、歳入総額9117万2千円、歳出総額8711万4千円で405万8千円の繰越しとなつております。

また、令和元年度補正予算につきましては、平成30年度からの繰越し金と財政調整基金積立金の補正等を行つております。

清幸苑の平成30年度における利用実績は、人体287件、動物など182件の469件となつており、前年度より人体で34件の減、動物で4件の増となつております。

また、長下最終処分場の平成30年

度における搬入実績は249トン、内訳は自己搬入粗大ごみ160トン、家屋解体材80トン、市村収集粗大ごみ3トン、市村直搬及び災害ごみ6トンとなつており、平成29年度と比べ全体で59トンの増となつております。

处分場の水質等の定期的な分析調査は、管理基準値をクリアしております。

なお、上小阿仁村議会議員選挙後の議員の異動に伴い、副議長に北林義高氏が選出されております。

健康・福祉関係について

健康づくり講演会では、7月4日に小中学校と共に学校PTAに合わせ、小中学生の保護者、教職員を対象に「認知症について正しく理解しましよう」認知症サポーター養成講座」として地域包括支援センター職員による講演を、7月31日には「心の健康のためにできること」うつ病を知る」をテーマに秋田大学医学部附属病院精神科の藤原大先生からご講演をいただいております。

また、8月29日には地域支援事業の一環として、健康づくり講演会「妻の病」レビュー「小体型認知症」の映画上映を行いました。

この後の予定としましては、10月9日に「劇団ちいさなお世話」による、自宅での看取りを題材とした5

部構成の講話と寸劇、10月19日には産業祭に合わせ、秋田県国保連合会のご協力のもと「タバコ」をテーマに、すずきクリニック院長の鈴木裕之先生にご講演いただき予定としております。

より多くの方に参加いただき、普及啓発を進めるため、関係機関のご協力を得て事業を展開しております。これらの事業が村民の健康づくりに役立つことを期待しております。

稻作状況について

7月26日、北秋田地域振興局農林部が水稻の生育状況を公表いたしました。これによると、あきたこまちについて、管内水稻定点調査9地点で調査した結果、草丈71・8cm(平年比97%)、茎数515本/m²(平年比98%)となつており、7月中旬以降の気温が平年並みかやや高く推移したことにより、草丈はやや短いものの生育が持ち直し、順調に進んでいるものと考えられます。

また、7月30日に秋田県病害虫防除所が発表した農作物病害虫発生予察情報によれば、穂いもち発生量は平年と比べてやや多い、斑点米カメシ類の発生量は多いと予想されており、病害虫の防除徹底を呼びかけてまいります。

有害鳥獣捕獲について

クマの捕獲については、8月5日現在、5件の有害鳥獣捕獲申請に対して10頭の捕獲となつております。クマの出没や被害はこれからが本格的となりますので、被害防止に向けて広報等により注意喚起してまいります。

学校教育関係について

6月15日、16日に行われた大館北

秋田中学校総合体育大会では、野球部と女子バスケットボール部が練習の成果を發揮して、精一杯頑張りました。

陸上競技部は2名が全県大会への出場権を獲得しました。
野球部は阿仁中学校との合同チームでした。

6月22日、23日に成田杯ミニバスケットボール大会において、スマイルファイターかみこあにが準優勝をし、8月1日、2日に秋田市で行なわれた全県大会に出場して、港北チームと対戦しました。

7月5日、6日に中学生全員を対象に、コアニティーを会場にしてイングリッシュ・キャンプを実施しました。

生徒37人が5人の外国人の先生や他の先生たちと一緒に、英語による発表やスピーチ、ゲームなどをを行い、学習しました。

生涯学習・社会教育関係について

今年度から北秋田市の中学生と一緒に体験することになり、友情を深めながら、働く意味や職業について考えてきました。

平成30年度の教育委員会事業について、学識経験者のご協力をいただき、教育委員会の事務に関する点検及び評価を実施し、「上小阿仁村教育委員会点検・報告書」をまとめました。今後とも事業や施策の改善を図つて、教育行政の適正な執行を進めてまいります。

国保診療所関係

4月から7月までの診療状況は、医科外来が診療日数76日、患者数223人、1日平均患者数は29人となつており、昨年と比較して1日平均で1人減となつております。

歯科は診療日数75日、患者数358人、1日平均患者数は5人となつております。

医科外来のうち毎週月曜日診療の泌尿器科につきましては、診療日数15日、患者数318人、1日平均患者数は21人となつております。

また、訪問診療につきましては、現在4件の訪問を実施しております。今後とも地域住民の健康を守る医療機関として、より一層の経営努力を進めてまいりますので、ご理解のほどをよろしくお願ひ申し上げます。

7月20日、21日に行われた全日本吹奏楽コンクール県北大会中学校合同の部に吹奏楽部が合川中学校・阿仁中学校と合同で出場し、金賞を獲得しました。

8月12日に秋田市で行われた全県大会でも金賞を獲得しました。

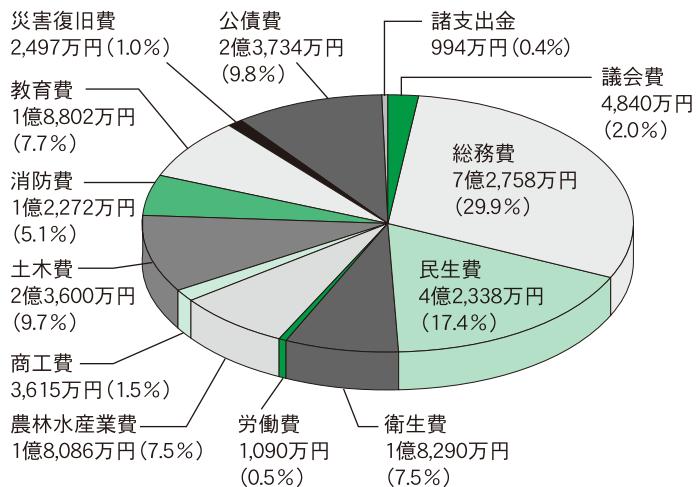
7月31日、8月1日には中学校職場体験が行われました。1年生10人が村内10カ所で、2・3年生27名が村外19カ所で、貴重な体験をしました。

われた成人式には、男性7人・女性9人、計16人全員が出席しました。ご来賓の祝辞や恩師のメッセージがあり、代表が「誓いのことば」を述べ、新成人は多くの方々から祝福され、再会を喜びました。

平成30年度社会教育施設関係の利用状況がまとまりました。さらに多くの方々に利用していただけるよう、工夫を加えながら、努めてまいります。

一般会計歳出…24億2,916万円

()は構成比



■村民一人当たりに使われたお金 (一般会計) 1,060,305円

議会費	21,127円
総務費	317,580円
民生費	184,801円
衛生費	79,834円
消防費	53,565円
労働費	4,756円
教育費	82,070円
農林水産業費	78,944円
商工費	15,780円
土木費	103,014円
公債費	103,596円
災害復旧費	10,898円
諸支出金	4,340円

- 議会費：議会の運営に使ったお金です。
- 総務費：役場庁舎等の維持管理や交通安全、防犯、戸籍、徴税、選挙など村の総括的な事務に使ったお金です。
- 民生費：社会福祉や医療助成など、安定した社会生活を保障するために使ったお金です。
- 衛生費：健康診断や各種健診、ごみ処理など、健康で衛生的な生活環境を保つために使ったお金です。
- 労働費：失業対策事業の実施、公共事業の実施に際して失業対策上必要な事務を行ったために使ったお金です。
- 農林水産業費：農業、林業、水産業の振興に使ったお金です。
- 商工業費：商工業の振興や観光の振興に使ったお金です。
- 土木費：道路、河川、村営住宅などの整備や維持管理、除雪などに使ったお金です。
- 消防費：消防や防災活動に使ったお金です。
- 教育費：小中学校、社会教育や保健体育など、教育全般に使ったお金です。
- 災害復旧費：災害によって道路や農地、山林などに生じた被害を復旧するために使ったお金です。

■村民一人当たりの村税を納めた額

75,123円

村民税	25,425円
純固定資産税	41,279円
軽自動車税	2,709円
村たばこ税	5,710円

※「村民一人当たりに使われたお金」「村民一人当たりの村税を納めた額」は、平成30年度末(平成31年3月31日)現在の人口2,291人で算出しました。

村の健全化判断比率と資金不足比率を公表します

平成19年6月に公布された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成30年度決算による村の健全化判断比率と資金不足比率を公表します。

健全化判断比率のいずれかが「早期健全化基準」以上の場合には財政健全化計画を、「財政再生基準」以上の場合には財政再生計画を定めなければなりません。

また、公営企業会計（村の場合は、簡易水道、農業集落排水、下水道の各特別会計）の資金不足比率が「経営健全化基準」以上となった場合は、経営健全化計画を定めなければなりませんが、村はいずれの比率も基準を下回っています。

健全化判断比率	村の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%	30.0%
実質公債費比率	5.4%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	

資金不足比率	村の比率	経営健全化基準
簡易水道事業特別会計	—	20.0%
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%
下水道事業特別会計	—	20.0%

※比率が「—」のものは、赤字額・資金不足額がないことを表します。

用語解説

- 実質赤字比率：一般会計等の実質赤字額の標準財政規模（地方公共団体において標準的に収入される一般財源の規模を示すもので、概ね地方税、地方譲与税、普通交付税、臨時財政対策債の合計額）に対する比率。
- 連結実質赤字比率：村の全ての会計を合算した実質赤字額の標準財政規模に対する比率。
- 実質公債費比率：公債費（借入金の返済額）及びこれに準じる額の標準財政規模に対する比率。
- 将来負担比率：一般会計等の地方債（借入金）や将来支払っていく負担などの残高から返済に充てができる基金（積立金）を除いた額の標準財政規模に対する比率。

平成30年度 決算報告

- 村 税：村民税や固定資産税など、村民の皆さんに納めていただいたお金です。
- 地方交付税：村の財政状況に応じて国から交付されたお金です。
- 分担金及び負担金：村の事業で特定の利益を受けた人に負担していただいたお金です。
- 使用料及び手数料：村の施設の使用や、住民票の交付など、特定の行政サービスを受けた人に負担していただいたお金です。
- 国庫支出金：特定の事業を行うために国から交付された負担金、補助金などのお金です。
- 県支出金：特定の事業を行うために県から交付された負担金、補助金などのお金です。
- 財産収入：村の土地などの財産の貸付、村有林の木材売扱収入などのお金です。
- 繰入金：財政調整基金の取り崩しなどにより繰り入れたお金です。
- 繰越金：前年度から持ち越された剩余金のことをおいいます。事業を持ち越すことでの必要になったお金も含みます。
- 村 債：特定の事業を行うために国などから借り入れたお金です。

平成30年度の一般会計・特別会計の決算が9月定例村議会で認定されました。

一般会計では、歳入から歳出を差し引いた9,432万円から、翌年度に繰り越した財源の804万円を除くと、8,628万円の黒字決算となりました。

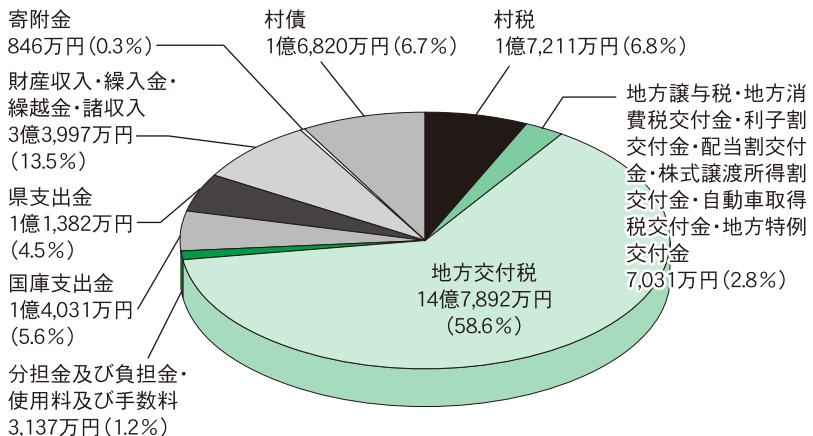
皆さんから納めていただいた村税や国からの交付税、県からの補助金などが、どのくらい入り、どのように使われたのか、その概要をお知らせいたします。

一般会計決算額

歳入	25億2,347万円
歳出	24億2,916万円
差引額	9,432万円
翌年度へ繰り越すべき財源	804万円
実質収支額	8,628万円

一般会計歳入の内訳…25億2,347万円

()は構成比



■特別会計の決算額

会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業勘定	3億7,648万円	3億7,370万円	278万円
国民健康保険診療施設勘定	1億0,556万円	1億0,556万円	0万円
簡易水道事業	8,035万円	7,940万円	95万円
農業集落排水事業	6,234万円	6,166万円	68万円
下水道事業	5,075万円	4,935万円	140万円
介護保険事業勘定	5億1,897万円	5億1,099万円	799万円
後期高齢者医療	3,880万円	3,880万円	0万円
総 計	12億3,325万円	12億1,946万円	1,380万円

■村税等の滞納状況

(30年度末残高)

村民税	2,114,671円
固定資産税	6,562,704円
軽自動車税	125,200円
国民健康保険税	6,696,637円
介護保険料	756,960円
後期高齢者医療保険料	1,336,052円
簡易水道使用料	1,811,826円
下水道使用料(農業集落排水)	2,400,190円
下水道使用料(公共下水道)	197,097円
介護サービス費収入	0円
保育料	0円
住宅使用料	6,315,664円
給食費	0円
高額療養費貸付金	110,600円
奨学金返還金	53,000円
計	28,480,601円

■村の借金

(30年度末残高)

一般会計	27億4,226万円
想定企業会計(介護)	166万円
簡易水道事業特別会計	5億4,143万円
農業集落排水事業特別会計	2億8,131万円
下水道事業特別会計	1億8,111万円
計	37億4,777万円

■村の貯金

(30年度末残高)

一般会計	31億7,073万円
財政調整基金	
一般会計減債基金	3億5,491万円
その他目的基金	6億593万円
計	41億3,157万円